

消防団たずね歩き

兵庫消防団 第6分団

私達、兵庫消防団第6分団は浜山、和田岬の兵庫区南部の地域を管轄しています。

コロナウィルス感染症が第5類になってから、私たちの地域では毎月、各団体による防災の取り組みが行えるようになりました。その取り組みの中でも地域の子供達、大人達も含め地域を巻き込んだ取り組みも行っています。

その1つとして1月には、和田岬小学校で今年で2度目となる、和田岬防災デーを行いました。

震災を知らない子供達に地域住民や学校の先生が語り部となり、消防団は子供達が過ごしている校舎を使用しての煙体験や防火扉、消火器、心肺蘇生法の指導を行いました。

学年毎に実施する項目が違い、初めて体験することも多く子供達や保護者の方達も驚くこともありながらも学んで頂けました。防災訓練の後には「とんど焼き」を行いました。勢いよく燃え上がる炎をみて子供も大人も今年一年の幸せを祈りつつ大きな声をあげて楽しんでいました。

私自身、震災を5歳の時に経験しました。いつもと違う風景、生活の強い印象が残っていますが、同時に地域の方達がお互いに助け合い、私自身もとても助けられていました。

最近では地域の繋がりが薄くなっているように感じますが、このような地域の取り組みを切っ掛けに繋がりが強くなれば、いざという時の備えにもなり、普段ももっと住み良い町になると思います。

兵庫消防団第6分団の団員の中には震災時に実際に活躍された方、まだ生まれていなかった方もおられます。先輩団員から後輩団員への技術、思いの引き継ぎも行いながら10年後、20年後にも震災で経験したことが風化しないように努めたいです。

また、私達消防団員は地域の防災リーダーとして、私達の技術の向上だけでなく地域と一緒に地域の人命、財産を守るためにこれからも取り組んでいきたいと思っています。

(兵庫消防団第6分団 部長 桑田章太)

